

国立大学法人長崎大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和元年11月22日(金) 事務局3階 第2会議室	
委員	委員長 赤羽 耕介 (公認会計士) 委員 永田 雅英 (弁護士) 委員 本田 卓 (国土交通省九州地方整備局 長崎河川国道事務所長)	
審議対象期間	平成30年7月1日 ~ 令和元年6月30日	
抽出案件(合計)	5 件	(備考)
工事(小計)	25 件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	1 件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	24 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
設計・コンサルティング業務(小計)	7 件	
公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	4 件	
標準型プロポーザル方式	0 件	
一般競争入札	3 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	別紙のとおり	

質 問	回 答
<p><b>1. 国立大学法人長崎大学において発注した建設工事について</b> (事務局より説明)</p> <p>・特になし</p> <p><b>2. 国立大学法人長崎大学において発注した設計・コンサルティング業務について</b> (事務局より説明)</p> <p>・特になし</p> <p><b>3. 指名停止等の措置状況について</b> (事務局より説明)</p> <p>・特になし</p> <p><b>4. 抽出・指定の考え方について</b> (事務局より説明)</p> <p>・審議対象とする案件の抽出指定の手續に、不明瞭な部分があると感じられるので、今後は明確にしていきたい。</p> <p><b>5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</b></p> <p><b>(1)一般競争入札(総合評価落札方式(標準型))</b> <b>【(坂本1)実験研究棟新営工事】</b> (事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>・2点確認したい。一つが、「事後的な調査・分析及び改善策」の予定価格と入札価格との差が僅少になった理由を「見積による工種が多くを占めた」としているが、どういうことか説明して欲しい。 2点目。建設工事と電気工事の点数を満たすのが45者だったけれども、BSL-3実験スペースを含む工事実績を持った業者が何者あるのか把握していたのか、説明して欲しい。</p>	<p>・ご指摘のとおり、今後は明瞭かつ適切な説明に努めたい。</p> <p>・「見積による工種が多くを占めた」につきましては、特殊な、例えば、気密性ドアとか、一般に市場には出回っていない特殊な器機の設備を多く含む工事であるため、予定価格を算出するためには見積を取るしかない。いろんな工種にわたって見積をとることから、多分、我々が見積依頼したところと落札業者が見積を取ったところが重複し、差が出なかったのではと推測している。 資格要件の建築一式1, 200点、設備系1, 100点以上の業者が45者存在することは把握していたが、45者のうちBSL-3の実験スペースの施工実績を持つ業者が何社いるかというところは、把握できていなかった。ただ、本学でもBSL-3の実験室を持つ建物は2棟あるので、他大学でもそういう事例があり、特別に特殊なものではないと考えた。</p>

質 問	回 答
<p><b>(2)一般競争入札(総合評価落札方式(実績評価型))</b></p> <p><b>【(坂本2)病棟・診療棟総合周産期母子医療センター改修機械設備工事】</b></p> <p>(事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>・「事後的な調査・分析及び改善策」の最後の一点、「病院内の大掛かりな改修という特殊性から、実績による条件設定を緩和することは難しいと考えている。」というところを説明して欲しい。</p> <p>・技術者も不足していて大変だとは思いますが、最近、余裕工期を設定した発注方式を導入しているが、そういう工夫をしているか教えて欲しい。そうでなければ、導入を検討すると、一つの解決法となるのでは。</p> <p>・これは2回目の入札で落札されていると思うが、1回目の入札額を教えてください。</p>	<p>・通常の工事の場合、校舎、研究施設などを含めた工事実績としているが、この案件に関しては、病院の特殊な施設を扱うため、建物種別を病院に絞っている。</p> <p>・本学では、余裕工期は導入していない。今後取り組んでいきたい。</p> <p>・1回目は1億4000万であった。</p>
<p><b>(3)一般競争入札(最低価格落札方式)</b></p> <p><b>【(坂本1)基幹・環境整備(樹木伐採)工事】</b></p> <p>(事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>・入札で安くなることは予算上いいことだ。ただ、安すぎると出来上がりが心配である。本当に手を抜いてないかどうかの施工状況はしっかり管理しているのか。</p> <p>・工事は終わっているのか。</p> <p>・特に何もなかったということなのか、途中、用心して見ていたのか、そのあたりはどうか。</p> <p>・変な業者がいるということを前提にはしないが、一応類型的な危惧があるから、変なことをしているかもしれないという危機感を持ってチェックしているのか。</p> <p>・九州支店、営業所とする必要があったのか。</p>	<p>・適時適切に管理している。</p> <p>・完了している。</p> <p>・問題なく施工できている。完了検査でも特段指摘はなかった。</p> <p>・現場担当者が必ず逐次チェックしており、問題なく施工できている。</p> <p>・500万円以下の場合、長崎県内の企業に限定。500万円を超える工事の場合は、幅広に入札参加者を求めるために、九州管内に本店・支店を構えているところという条件としている。</p>
<p><b>(4)一般競争入札(総合評価落札方式(実績評価型))</b></p> <p><b>【(坂本2)総合研究棟(旧歯学部本館)Ⅱ期改修工事】</b></p> <p>(事務局より資料に基づき概要説明)</p>	

質 問	回 答
<p>・入札したときに、低入札調査基準以下だった場合、入札した後、すぐに、落札とするのか、入札価格調査をしてから、落札とするのか、どちらと考えて良いのか。</p> <p><b>(5)簡易公募型プロポーザル(拡大)</b>  <b>【(坂本2)総合研究棟(旧歯学部本館)Ⅲ期改修設備設計業務</b>  (事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>・この案件が、応募が1者しかなかった理由は、空調関係だったからということか。</p> <p>・当初スケジュールの契約予定時期から1か月ぐらいずれ込んでいるが、なぜか。</p> <p>・入札に全然関係ないことだが、資料11の17ページ、「坂本2団地配置図」の右下に「看護婦宿舎」というのがある。看護婦というのは時代にそぐわないのではないか。</p> <p><b>6. その他</b></p> <p>・余裕工期の導入を検討することと、今まで同様、低入札の場合には、工事の監理をしっかり実施することに努めて欲しい。</p>	<p>・入札の結果、基準価格を下回っていることを確認した時点で、いったん保留にする。その後聴き取りをし、その結果、問題なく工事が遂行できることを確認できたところで、入札を確定させて契約することになる。</p> <p>・設備の設計業務を同時期に、2件公示している。空調関係の設計のため、長崎市とか諫早市とかの他機関も同時期に空調関係の設計が公示されていたこともあり、参加が難しかったのではと考えている。</p> <p>・これは、2019年当初予算ということで、4月1日に示達があったらすぐ契約できるよう計画としていたが、文科省からの予算示達が4月の下旬となったためである。</p> <p>・「看護師」で修正。</p>